

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども療育センターふわりん
------	---------------

公表日 2025年 3月31日

利用

児童数 65名 2025年 3月 21日

回収数 42名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	40	2	0	0	・広々として子どももののびびしている。 ・よく動く子ですが、のびのびと動き回れている。 ・家ではできない事や園ともまた異なる遊びができ、とても楽しみなが学べてありがたい。	今後も大型遊具を設定し、子どもたちがダイナミックに身体を動かして楽しめるようにしている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	41	0	1	0	・一人ひとりしっかり見て頂いている ・子どもの人数に合わせ適切に対応してもらっていると思います。 ・先生(全体)の人数が少ないと思う。	適切な職員配置で子どもたちに対応する。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	2	0	0	・するっと活動を始めているようなのでわかりやすいんだと思う。	子どもたちが集団活動にとりくめるよう十分なウォーミングアップの楽しい時間を提供している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	42	0	0	0	・いつもきれいです。子どもも過ごしやすそうです。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	42	0	0	0	・出来る事、出来ない事、出来た事をしっかりと理解していただいてそれに依りて支援している。 ・いつもよく見てよく理解して優しく温かく適切な支援をしてくださりありがたい。	今後も子どもたちの特性に合わせ、職員の専門性を活かし支援が提供できるようにする。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39	0	0	3		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41	1	0	0	・私自身、子どもに相対する時にとても参考になる。	支援に携わる職員で話し合いをし、計画を作成している。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	2	0	4	・子どもの持つ課題、それに対する支援とわかりやすく勉強になる。	今後も分かりやすい計画に努める。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	40	1	0	1	・沿っていただけるだけでなくその時々の子どもの様子に合わせ、臨機応変に対応してもらっていてありがたい。	利用日の子どものコンディションに合わせて臨機応変に対応する。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	1	0	0	・発達段階に応じ、色々考えてくださっていると感じる。子どもも楽しそうですし、無理なく取り組んでいると思う。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	23	6	5	8	・特に参加しない。情報がどこにあるかわからない。 ・あまりないのかなという気がする ・書面を活用し丁寧だったと思う。	事業所の形態上、全ての利用者が地域の園に在籍をしているため、事業所として交流の必要性を感じていない。 今後も利用を開始する際や変更がある時には、説明をする。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41	1	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	5	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	6	2	7	・私が参加したことがないだけでしょか	法人全体で家族が参加できる研修会を開催しているので、利用者への周知を徹底する。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	41	1	0	0	・毎回やったこと等をしっかりと伝えてもらっている。 ・こちらからの情報も丁寧に聞いてくれる。	今後も家族の方に送迎していただき、その日の様子を話し合う時間を持つ。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	39	3	0	0	・毎回のフィードバックとても助かっている	・利用日の終了時や懇談会で家族の方との話し合いを行う。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	0	0	0	・いつも否定せず受け止めてくださった上での支援、ありがたい。	今後も子どもたちや家族の気持ちに寄り添い支援していく。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	7	2	9	・私たちが特に参加していない。 ・妹に対していつも優しく気にかけてくださっていてありがたい。妹も楽しそうにしている。	・法人全体で家族が参加できるイベントを開催している。父母の会や保護者だけの交流会については今後検討する。 ・療育の見学に同行する兄弟が遊べるスペースを十分に確保している。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	2	0	3	・いつもありがたいです。助かっている。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	1	0	0	・いつも気にかけてくださっていると思う。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	3	0	9	・ホームページは見やすく、わかりやすく良いと思う。	保護者に対して周知を徹底する。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	1	0	1	・問題ないと思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	0	1	12	・マニュアルはわかりませんが、訓練はよくわからない。	それぞれのマニュアルは、保護者の方が見やすい場所に置く。 各訓練後の周知を徹底する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	4	0	14	・訓練しているのかわからない。	訓練をする日が限定しているため、全員に対しての周知を徹底する。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	1	0	6	・安全に留意していただいているのはわかるのですが、計画があるのかはわからない。	施設の安全点検の結果や不審者侵入訓練等を掲示する。。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	1	0	5	・そういう事態になったことがない。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	39	0	0	0	・先生のおかげで慣れきっている。。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	3	1	0	・毎日のように「今日は？」と聞かれ今日じゃない事を伝えると悲しそうにしている ・「今日はないのか」と文句がでるくらい楽しみにしている。	今後も子どもたちが「楽しい」や「できた」を感じられるように努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	0	0	0	・支援のおかげで着実に大きく成長することができた。	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		こども療育センターふわりん				公表日	2025年 3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	・子どもの状態に合わせて部屋を使い分けている。	今後もグループの人数に合わせた療育室の使い方を検討する。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・子どもの状態によっては、個別に対応をしなければならない時は職員間で連携をしている。	個々の子どもの特性をしっかりと理解し、職員間で連携をし対応をしていく。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・利用者が階段を昇降する時には、声掛けを行っている。	・日頃から、階段は手すりをもって昇降するように徹底する。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・療育を見学している保護者の前を通過する際は、声掛けをして通過している。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0				
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	・活動の終わりに話し合いができない時には、後日話し合いをしている。	今後も終了時に話し合いが難しい時には、後日話し合いを行う。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		職員間で適宜話し合う		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		第3者委員会は設置しておらず、今後検討をする		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0				
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2		公表されていることを周知する。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	・全職員で話し合いをしている。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	計画に沿った支援になっているのか、職員間でしっかりと話し合う。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		フォーマルなアセスメントは何かを理解していない職員がいるため、共通理解が必要		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2	・支援計画の項目が実際の利用者の実情と合わないと感じることがある。	毎年、支援計画の項目については見直しをする。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	・個々に合わせて工夫している。	療育終了後、全職員で意見を出しあい次回の支援内容を考えている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・それぞれの専門性を活かし、利用者の支援をしている。	職員それぞれが考える課題を話し合う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	・変動的な勤務形態により話し合いに参加できない職員がいる時は、書面で伝えている。	勤務形態を見直し、支援開始前には確実に話し合いを行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	・イレギュラーな会議が開催されるため、その日のうちに振り返りができないこと時には後日行っている。	できる限りその日に振り返りができるようにする。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	・支援計画の見直しは、1年に2回グループがかわるタイミングで行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	みどりファイルを活用している。	みどりファイルを活用して支援計画やモニタリングの説明時に園とも共有していただくように保護者に求める。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	みどりファイルを利用して保護者から小学校へ情報提供は行っている。	みどりファイルを利用して保護者から小学校へ情報提供は行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		少人数で、テーマ別の座談会など要望も多いため検討したい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	1	・懇談等で同意を得ている。	計画の説明の時には、保護者と十分に話し合いを行う。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	・日々のフィードバックで話し合いをしている。	日々の療育のフィードバックでは、内容によっては個別の部屋へ移動する等の配慮を行う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	年に一度年長児に対して座談会を開催している。	全学年を対象とした座談会の開催は今後の課題。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	保護者からの相談の申し入れがある時には迅速に対応し、関係機関と連携を取っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	法人内での事業の中では地域住民に開かれた運営を行っている。	事業所単位で「地域に開かれた運営とは」を考えていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	職員全体で定期的に非常災害に備えた備品の周知や訓練を行う。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1	保護者からの情報を職員間で周知する。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育センターふわりん		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 10日		2025年 3月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65	(回答者数) 42
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日		2025年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達支援室が広く、ダイナミックに身体を使って遊べる遊具が豊富にあること。	それぞれの発達にあった遊具を設定し、身体を使った療育を楽しめるようにしている。	事業終了後は職員と話し合い、より良い活動を提供できるようにする。
2	保育士、作業療法士、言語聴覚士、療育経験の豊富な児童指導員と多職種の職員で療育を行っている。	職員それぞれの専門性を活かした療育を提供している。	今後も多職種の職員が色々な視点からの意見を出し合い、療育が提供できるようにする。
3	保護者の承諾により、地域の園と連携がとれ、利用児の情報交換ができています。	保護者の要望や園からの要望に応じ、随時園訪問を行っている。	みどりファイルを活用し、支援計画やモニタリングの内容を園とも共有するように保護者に促す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の方への情報提供不足。 特に防災等の訓練、各種マニュアル等の周知が全ての利用者に届いていない。	掲示板や施設情報の閲覧ファイルの存在が保護者に周知されていない。	掲示板で報告するだけでなく、ホームページや連絡アプリを活用して情報提供をしていく。 保護者に対して定期的に掲示板や閲覧ファイルの存在を知らせる。
2	ペアレントトレーニングや保護者同士の交流会の場の提供	お子さんの学年、通所ベースが様々であり、ニーズの把握自体が困難なこと。	事業所単位での立案は現在出来ていないが、法人全体でこの課題を解決するように努める。
3			